

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第34週 平成16年8月16日(月)～平成16年8月22日(日)

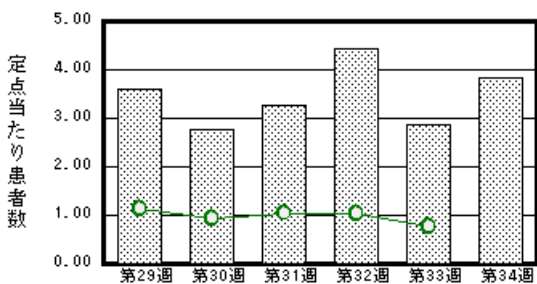
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

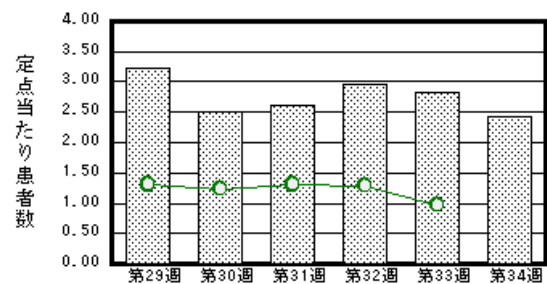
## 注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 流行性耳下腺炎 (88名) 手足口病 (56名) 感染性胃腸炎 (33名)  
突発性発しん (26名) 水痘 (24名)
- 【流行性耳下腺炎】患者報告数が増加しました (66名 88名)。特に唐津保健所管内で多く報告されています (63名)。
- 【腸管出血性大腸菌感染症】中部保健所管内でO157の届出が4名ありました。県内では6月以降、発生が続いています。全国的にも多く発生しています。手洗いや食品の温度管理、十分な加熱など一般的な食中毒予防を心がけましょう。

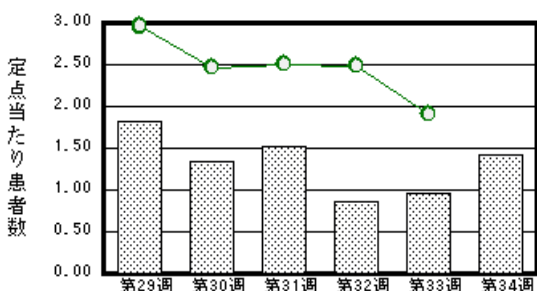
流行性耳下腺炎



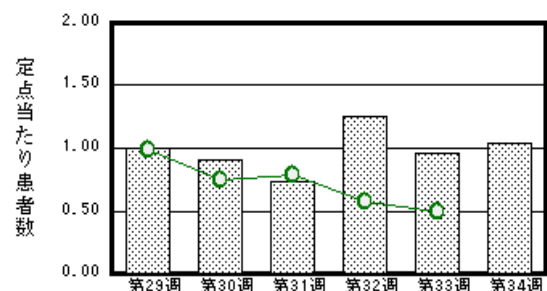
手足口病



感染性胃腸炎



水痘



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

## 全国版感染症週報 (DWR) 2004年第32週号 (8月2日～8月8日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第32週 > 咽頭結膜熱 - 定点当たり報告数は第30週からは減少しているが、相変わらず、過去10年間の当該週と比較して最高値を示している / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第32週の現段階での報告数は190例で、1週間の報告数としては第29週 (213例)、第31週 (211例) に次いで多かった
・ 病原体情報	手足口病患者から検出されているウイルス2004年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス2004年 / 流行性角結膜炎患者から分離されているアデノウイルス2004年
・ 速報	保育所におけるRSウイルスの集団感染事例 大阪市
・ 海外感染症情報	ベトナムでの鳥インフルエンザ発生 / 東南アジアでのデング熱流行 / カナダと米国のウエストナイルウイルス
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

## 全数届出の感染症(佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(O157) (三類感染症)	
患者 (住所地)	男児1名 (佐賀市)	
無症状病原体保有者	3名	
感染原因・感染経路	不明	
平成16年届出累計	10件27名(今週1件4名)	
平成15年	同 期	15件29名
	届出累計	25件42名

## 佐賀県感染症発生動向調査

定点報告(五類感染症(週報分))

平成16年第34週

平成16年8月16日(月)~平成16年8月22日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第33週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								2 0.00
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								43
	咽頭結膜熱	7 0.88	4 1.33	1 0.25	3 1.00		15 0.65	16 0.70	1732 0.57
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	7 0.88	3 1.00	4 1.00		2 0.40	16 0.70	13 0.57	1294 0.43
	感染性胃腸炎	11 1.38	8 2.67			14 2.80	33 1.43	22 0.96	5760 1.91
	水痘	5 0.63	1 0.33	14 3.50		4 0.80	24 1.04	22 0.96	1488 0.49
	手足口病	13 1.63	23 7.67	3 0.75	5 1.67	12 2.40	56 2.43	65 2.83	2936 0.97
	伝染性紅斑			3 0.75	1 0.33		4 0.17	7 0.30	465 0.15
	突発性発しん	8 1.00	6 2.00	8 2.00	1 0.33	3 0.60	26 1.13	23 1.00	1984 0.66
	百日咳								36 0.01
	風しん								21 0.01
	ヘルパンギーナ	2 0.25	5 1.67	3 0.75	2 0.67	6 1.20	18 0.78	14 0.61	3593 1.19
	麻しん(成人 麻しんを除く)								35 0.01
	流行性耳下腺炎	14 1.75	3 1.00	63 15.75		8 1.60	88 3.83	66 2.87	2325 0.77
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								8 0.01
	流行性角結膜炎	2 1.00				1 1.00	3 0.75		465 0.75
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								4 0.01
	無菌性髄膜炎	1 0.50		1 1.00			2 0.33		41 0.09
	マイコプラズマ肺炎			1 1.00			1 0.17	1 0.17	104 0.22
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								8 0.02
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点+内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は32週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成16年第34週 平成16年8月16日(月)~平成16年8月22日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSV ウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満					2			5						6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満				1	2	5		11			2		1	12ヶ月未満								
1歳		1歳		2	1	10	6	19		10			6		4	1歳								
2歳		2歳		2	1	4	5	14					4		14	2歳								
3歳		3歳		4	2	2	4	5					4		18	3歳								
4歳		4歳		2	3	6	3	5	1				1		8	4歳								
5歳		5歳		2	4	2	2	5	3				1		12	5歳						1		
6歳		6歳			2			1							11	6歳					1			
7歳		7歳			2										8	7歳								
8歳		8歳		2	1	2									5	8歳								
9歳		9歳						1							1	9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳		1		5		1							6	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳				1										15歳~19歳		1						
20歳~29歳		20歳以上														20歳~29歳								
30歳~39歳																30歳~39歳		1						
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳		1			1			
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		15	16	33	24	56	4	26			18		88	合計		3		2	1			
前期計		前期計		16	13	22	22	65	7	23			14		66	前期計					1			
当期間/前	***	当期間/前	***	0.94	1.23	1.5	1.09	0.86	0.57	1.13	***	***	1.29	***	1.33	当期間/前	***	***	***	***	1	***	***	***
増減数		増減数		-1	3	11	2	-9	-3	3			4		22	増減数		3		2				

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

\*\*\*は前期計が"0"のとき

